

ECO NEWS



『生ゴミ』等のリサイクル!

突然ですが、皆さんは生ゴミの始末どうしていますか。夏場などは臭いも酷く、子蝇などもよってきて衛生的にも良くないですね。

ゴミ処理の基本はまず排出を抑制すること、次いで製品や原料への再利用、そして焼却のような熱利用をし、最後に再利用出来ないものを衛生・安全に処理することです。

生ゴミの場合はライフスタイルや食べ残し、売り残しを減らす取り組みがまず大切となりますが、一方でどうしても出てくる調理屑などの生ゴミもあります。

循環型社会の形成に向けて、また農業への有機肥料確保などの視点から生ゴミ等のリサイクルを進めていくことが期待されます。

例えば、自宅の畑や庭の隅に穴を掘って、生ゴミと乾いた土や枯葉などをサンドイッチしながら数ヶ月かけて分解・堆肥化する方法から、ミミズの力を借りて生ゴミを処理しながら、生命の循環まで学べてしまうという『ミミズコンポスト』、電気式の生ゴミ処理機、あるいは地域ぐるみで取り組む集合処理型のものなどがあります。いろいろな方法で取り組んでいる人たちが大勢います。

あなたも生ゴミの堆肥化始めてみませんか。

ロビーコンサート



9月11日(土)、外来ロビーにて『9月ハワイアンコンサート』を開催し、ハーラウ・フラ・オ・ナーレイバの皆様フラダンスを披露していただきました。

今後も毎月1回ロビーコンサートを開催する予定です。11月は、ふれあいの会による民謡や舞踊、12月は男声四重唱のダンディーフォーコンサートを予定しています。

にしまる探検ツアー その10



今回は東棟6階にあるリハビリ室をご紹介します。東棟6階リハビリ室は理学療法室と作業療法室からなる大きな訓練室となっております。理学療法室には平行棒やマット、マシンなど、作業療法室には輪投げや作業道具など、訓練目的に応じた設備が整っております。当院はリハビリに力を入れており、日中たくさんのお患者様とリハビリスタッフとが訓練を行っております。

編集後記

秋といえば、読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋と秋の楽しみ方は様々ですが、紅葉と秋の味覚を味わいに知床まで旅行に行ってきました。

今年は暖かい日が続いており、紅葉が見られるか心配ではありましたが、それぞれ葉が色づいており秋季ならではの景色が広がっていました。

四季折々の旬なものを感じながら、冬を迎えたいと思います。

すべての
お問い合わせは

郵便

〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
札幌西円山病院 医療福祉課内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい!

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

医療法人 溪仁会

[医療法人溪仁会 札幌西円山病院 広報誌]

にしまるやま通信

NO.65 2010年
9.10月号



撮影者: Y.K

- 看護部便り Vol.2
- 病院祭
- 紅葉バスツアー
- ECO NEWS
- ロビーコンサート
- にしまる探検ツアー
- 編集後記

* * 札幌西円山病院のご案内 * *

- 診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
- 病床数 866床(障害者施設等入院病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養型医療施設)

病棟紹介 ～ 4B・5B・7B ～

当院には全部で18の病棟あります。今回はその中でも、4B、5B、7B病棟をご紹介します。

4B病棟

4B病棟は疾患の慢性化した患者様に対して安全・安楽を元に日常生活を中心に現在のQOLを維持・向上できるように職員同士が協力し合いながら看護・介護を行っています。職員は、ベテランの方が多いため、時には自分の経験をふまえて教えてください。また、患者様の生活において笑顔を多く見れるよう夏祭りやクリスマスなど季節の行事もあるので、普段見れない患者様の様子を見ることもできます。



5B病棟

5B病棟は、パーキンソン病などの神経難病をもつ患者様が多く入院されています。長期間に渡り療養生活を送られている方が多いため、医師、看護・介護スタッフ、病棟専従リハビリスタッフが共同し、患者様が毎日安心して生活することができるよう心がけてケアを行っています。



- ◎右の写真は患者様のお誕生日の様子です。
- ◎大好きな飲み物を口に含みニッコリされていました。

7B病棟

7B病棟は神経難病の患者様が療養されています。神経難病は進行性の疾患で、体を思うように動かすことや、食べること・話すことなどが難しくなります。

当病棟で大切にしている事は、患者様・ご家族の望みや希望を叶えることです。下の写真は、当病棟における外出支援の様子です。主治医と看護師、リハビリスタッフが付き添い、由仁町にある患者様の自宅へ行きました。久しぶりに、長年過ごした自宅で家族に囲まれ愛称で声をかけられると、涙ぐまれていたと奥様よりお話がありました。また、「こんなことが出来るなんて、本当にありがたい。」という言葉をいただきました。同行した看護師は、大きな畑がいくつもあり、患者様が汗水流し農作業をしてきた暮らしや、大家族に囲まれる姿を見て、あたたかい家庭を作りあげてきたことを感じました。難病を抱え生きる患者様の姿は、私たちに多くの事を教えてくれています。これからも、患者様やご家族の心に寄り添い、共に笑顔でいられるような看護をしていきたいと思えます。



病院祭

9月12日(日)に病院祭が開催されました。

屋上では屋台コーナーを設置し、職員が焼き鳥や焼きそばなどを販売しました。今年は当院のボランティアグループ銀の舟の秋の恒例行事「銀の舟バザー」と合同開催となり、ボランティアさんが甘酒やリサイクル品・手作り作品の販売、抹茶サービスの提供を行ないました。

また初めての試みとしてのご自慢大会を行いました。職員やご家族の応援のもと、患者様がご自分の十八番を披露されおおいに盛り上がりました。

作品展示コーナーでは患者様が普段行なっている趣味活動教室(生け花・書道・陶芸・手芸)の作品を展示しました。

午後からはセレモニーでは100歳以上の入院患者様のご紹介、患者様による詩吟の発表、フラダンス、よさこいチームによる演舞など様々なステージが行なわれ、盛況のうちに幕を閉じました。



紅葉バスツアー

10月18日(日)から20日(水)まで当院の恒例行事であります紅葉バスツアーを開催しました。蒸し暑かった残暑も終わり、朝晩は冷え込むようになりましたが、この3日間は天気に恵まれました。バスは旭山公園、リフト車は豊平館へ行き少し早い紅葉を患者様ご家族と楽しみました。

